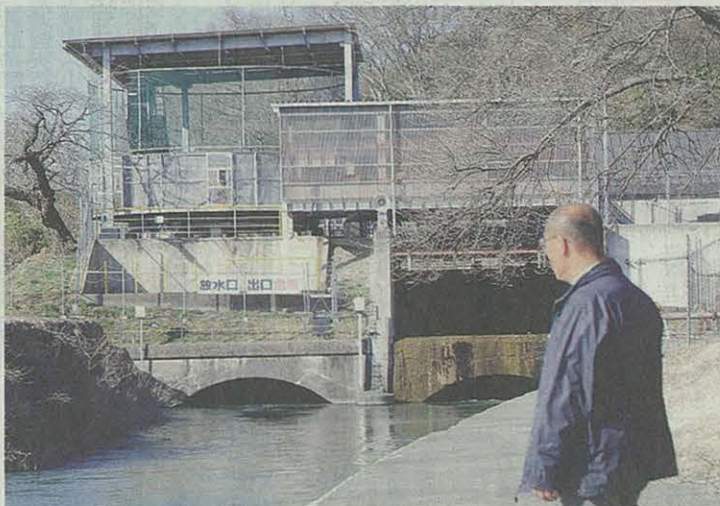


## 大久保発電所 (駒ヶ根市東伊那)



天竜川本流で、最初の発電所となった大久保発電所＝駒ヶ根市東伊那で

那地域の家庭や工場に送っている。大久保発電所は、福沢諭吉の娘婿で、現在の中部電力や東邦ガスなどを設立した実業家・福沢桃介が手がけた。福沢は「日本の電力王」と呼ばれ、天竜川水系では、泰阜村の泰阜ダムなどの電源開発を行った。同発電所は現在、中部電力が管理している。

発電所のある駒ヶ根市東伊那は「竜東」と呼ばれ、中央アルプスの山並みが一望でき、気候が穏やかな土地柄。発電に利用された流水が、陽光に反射してきらめいていた。(札木良)

# 天竜川本流での第1号

天竜川電力が、天竜川本流に計画された南向発電所(中流)で最初に造った発電所。下流(川村葛島)の工用電源を確

保するため、一九二六(大正十五)年十一月から、二七(昭和二)年九月にかけ、わずか十月で完成させた。発電所の落差は五・七メートル。上流三百七十六メートルある大久保ダムで天竜川をせき止め、多量の水の水圧を利用して発電。四台の水車が回転し、発電した千五百瓩を上伊



〈43〉

